

## 令和5年度 第2回旭川市博物館協議会議事録

日 時：令和5年12月14日（木） 午後6時から午後6時40分まで

場 所：旭川市博物館 郷土学習室

出席委員：武田委員・辻並委員・宮腰委員・南委員・石田委員・奥寺委員・管野委員・坪坂委員・豊田委員  
(以上、9名)

会議の公開・非公開の別：公開

傍聴者の数：なし

(次 第)

- 1 開会
- 2 社会教育部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
  - (1) 令和5年度上半期事業実績について
  - (2) 令和6年度事業方針（案）について
  - (3) その他
- 5 閉会

【議事内容（要約）】

(1) 令和5年度上半期事業実績について

事務局	資料の内容について説明
会 長	意見や質問はあるか。
委 員	(意見なし)

(2) 令和6年度事業方針（案）について

事務局	資料の内容について説明
会 長	令和4年度の事業活動計画について、説明いただいた。質問や意見等はあるか。
委 員	(意見なし)

(3) その他

会 長	これまでの話全体を通しての中で、質疑の中で質問や意見はあるか。
委 員	事務局から来館者数について以前の水準に戻ってきたという話があった。 また、アイヌ文化ふれあいまつりは食ベマルシェの時期に合わせて開催して大変盛況だったというお話もあった。旭川に住む者としてアイヌ文化は非常に価値のあるものだと思う。下半期にも様々な行事を予定しているようだが、さらに市民や市外から来た方が興味を持てるような工夫を続けていってほしい。 体験イベントを掲載している博物館通信だが、どこかに配ったりしているのか。取り扱いをどのようにしているのか。
事務局	紙で置いているのは博物館だけである。ホームページに掲載しているが、紙での配布はしていない。
委 員	子どもたちにもこういった体験をしてもらいたいと思っているので、学校の方で拡大印刷して貼りだすなどしたいと思う。
事務局	夏休み号や冬休み号は、学校に送付することがある。今年の冬休みイベントを掲載した号は作成が遅れたため送付していなかった。
委 員	博物館通信を紙として学校に配送するとなると、コストや作業が大変になると思うが、データで学校のメールに一斉送信してくれれば、学校の方で必要に応じ大きく引き伸ばして印刷したり、紙で印刷して配布したりが可能なのではないかと思う。
事務局	学校で印刷してもらおうのが申し訳なく思う。
委 員	今子供達にはタブレットが配られているので、そこにデータを共有する方法もあるのではないかと思う。
事務局	学校に協力いただければ、そういったことも考えたい。
委 員	小学校3年生、小学校4年生あたりで昔の道具であったり、アイヌの人々の歴史、屯田兵の歴史を学習するわけだが、写真で見ただけでなく、本物に触れたり見学に来て話を聞いたりという調べ学習は本当に大きな財産である。チセや屯田兵屋は身近に見れるものではないので、こういったものがある旭川市博物館は本当に素晴らしいと思うので、学校としてはどんどん活用していきたいと思う。 バスのレンタルが大変なので機会は限られていると思うのだが、コロナが落ち着いた今、博物館に見学に来る学校は増えていると思う。 私が所属している社会科の教員たちの団体も、積極的にPRして行ってどんどん博物館を活用していきたいと思っている。令和6年度さらに入館者が増えるのを楽しみにしている。
委 員	ハンドアウトのQRコードは6か国語に対応していると言いましたが、どの言語なのか教えて欲しい。
事務局	英語、中国語繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、日本語である。
委 員	収蔵庫のキャパシティというのはどのくらいになっているのか。
事務局	あまり余裕のない状態になっている。
委 員	私の専門の昆虫の博物館や学会に行くと、ここ10年でそういったものを蒐集されている方が高齢になって、リタイアされ寄贈を考えていると聞く。 10年後には蒐集している人がいなくなってしまう、一気に国内のコレクションが失われてしまうので、博物館関係者が受け入れを検討されているようなところだと思う。 人文系のコレクションも博物館がコレクションを受け入れるのがとても大変ではと考えている。収蔵庫のキャパシティというものは1年2年でどうこうなるような問題ではないので、旭川市博物館が長期的にはどういう博物館を維持していくのか気にかかる。ぜひ10年20年後いい方向に進んでいければいいと思う。
	<終 了>